

# 田柄高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科：公民科 科目：政治経済 学年：第3学年 単位数：2単位

教科担当者：1組 荒井 2～5組 石田

使用教科書：実教出版株式会社 最新 政治・経済 新訂版

使用教材：実教出版株式会社 高校政治・経済 新訂版 演習ノート

期間	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
第1学期前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代の政治</li> <li>・現代国家と民主政治</li> <li>・日本国憲法と基本的人権</li> </ul>	民主政治の成立した歴史的背景、民主政治の基本原則とその具体的な仕組みおよび課題について理解させる。日本国憲法と大日本帝国憲法の違いを時代背景から考察するとともに、日本国憲法で保障されている基本的人権の保障を具体例、判例を交えて理解させる。	定期考査、プリント提出状況、小テスト、出席状況および授業態度等を総合的に評価する。	12
第1学期後半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の政治制度と政治参加</li> <li>・世界の主な政治制度</li> </ul>	日本の政治機構について、立法、行政、司法それぞれの面から理解させ、それぞれの持つ課題について考察させる。また、裁判員制度や死刑制度の是非について考察する時間を設け、新成人としての司法参加の意識を高める。議院内閣制と大統領制の違いを主に、世界各国の政治制度を理解させる。	定期考査、プリント提出状況、小テスト、出席状況および授業態度等を総合的に評価する。	14
第2学期前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代の経済</li> <li>・経済社会の変容</li> <li>・現代経済のしくみ</li> </ul>	資本主義経済の仕組みと成り立ち、現代の資本主義経済の在り方について理解させる。経済主体、市場、企業の役割を身近な例を挙げて理解させる。金融や財政の仕組みや課題を時事的なニュースを挙げつつ、理解させる。	定期考査、プリント提出状況、小テスト、出席状況および授業態度等を総合的に評価する。	14
第2学期後半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の日本経済と福祉の向上</li> </ul>	戦後復興から高度経済成長、石油危機、バブル崩壊への日本経済の流れを把握させるとともに、今後の日本経済の在り方を考えさせる。中小企業の現状など、日本経済の課題を理解させ、望ましい解決の方向を考えさせる。消費者問題、労働問題、各種社会保障制度を理解させるとともに、自己の問題として卒業後にも活かせるように考える力をつける。	定期考査、プリント提出状況、小テスト、出席状況および授業態度等を総合的に評価する。	20
第3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会の諸課題</li> </ul>	国際連合と専門機関、国際協力、農業や食糧問題、少子高齢化や社会保障問題、地球環境問題等の現代社会における諸問題について理解し、その望ましい解決方法を自分なりに考えることが出来るようにする。	定期考査、プリント提出状況、小テスト、出席状況および授業態度等を総合的に評価する。	2